

授業展開例（総合的な学習の時間）

1. 学 年 第3学年

2. 単元名 福祉体験を通して人権を考える

3. 単元の主たる目標

- ・福祉施設を訪問し，体験学習や調べ学習をする中で，福祉についての知識や考えを深める。
- ・体験学習を振り返る中で，自分がうまくできなかった点について，周りの人の意見などを参考に解決方法を見つけ出そうとする。
- ・現在及び将来の福祉施設や介護の在り方，介護に必要なことを自分のこととして考える姿勢を持たせる。

【普遍的視点】

自他の理解と尊重

- ・相手の立場を理解し，礼儀や思いやりの心をもち適切に行動できる力を育む。

コミュニケーション能力

- ・情報を調べたり，まとめたりしたものをもとに，適切に発表したり，意見交換できるようにさせる。

4. 評価規準

観 点	評価の規準	評価方法	他教科等との関連
ア 活動への意欲・関心・態度	福祉について関心をもち，課題解決に向けて進んで活動しようとする。 自分たちができることを考えて実践しようとする。	行動観察 発表観察 自己評価	道徳 思いやり
イ 課題を見付ける力	アンケート結果から，何が課題かを見付けることができる。 活動でうまくできないのはなぜかと課題をもつことができる。	行動観察 発表観察	社会 高齢社会
ウ 課題を解決する力	自分の意見を出し，人の意見を聞く中で，解決方法を見付けることができる。 調べ学習の中で，知識を身に付ける。	発表観察 自己評価	社会 高齢社会 理科 動物の体のつくりと働き
エ 人に伝える力	調べたことを，見る人に分かりやすいようにまとめて書くことができる。 調べたことを，聞く人に分かりやすいように表現を工夫することができる。	レポート 行動観察	国語 レポートの書き方 発表の仕方 英語 暗唱
オ 人とかかわる力	相手の立場にたって，接することができる。 共に活動する中で，友達のよさを見付けることができる。	行動観察 自己評価	道徳 思いやり
カ 自分を振り返る力	活動を振り返って自分のがんばりや成長に気づき，自分にできる活動を進んで実践しようとすることができる。	自己評価	学活 ボランティア活動

5. 指導計画

(1) 「総合的な学習」3学年年間構想図

単元：福祉体験を通して人権を考える
ねらい
<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設を訪問し、体験学習や調べ学習をする中で、福祉についての知識を深める。 体験学習を振り返る中で、自分がうまくできなかった点について、周りの人の意見などを参考に解決方法を
<ul style="list-style-type: none"> 見つけ出そうとする。 現在及び将来の福祉施設や介護の在り方、介護に必要なことを自分のこととして考える姿勢を持たせる。
自他の理解と尊重
<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場を理解し、礼儀や思いやりの心をもち適切に行動できる力を育む。
コミュニケーション能力
<ul style="list-style-type: none"> 情報を調べたり、まとめたりしたものをもとに、適切に発表したり、意見交換ができるようにさせる。

教科	総合的な学習	道徳	意識の流れ	評価
・国語 レポートの書き方、 発表の仕方 ・英語 暗唱（毎月） 社会 「高齢社会」	（事前アンケート調査） アンケート結果の交流 第1回訪問...施設見学 訪問個人レポート作成 （訪問施設毎の発表） 第1回訪問アンケート 結果の見直し 課題調べ学習 「なぜ充実した施設があるのか」 課題学習発表 第2回訪問 ...グループ毎の出し物 アンケート調査 出し物の反応 討議「出し物をする上で何が必要だったか」 課題調べ学習 「介護制度」「生きた時代」 課題学習発表 第3回訪問 ...身の回りの世話 アンケート調査...うまく介護ができなかったこと 施設毎の交流 課題調べ学習「加齢」 課題学習発表 第4回訪問 ...身の回りの世話 （アンケート調査...うまく介護ができた点） 21施設毎の交流 22討議「介護を自分のこととしてとらえ、今後の介護の在り方について考える」 （本時） 23個人レポート作成 「理想の老人ホームとその設備・日課」 （年賀状作成） 24第5回訪問 ...身の回りの世話、お礼、 自分の進路と決意 25個人レポート発表	思いやり 「正午の電話」 生命尊重 「誰かに甘えたい」 礼儀 「いただきます」 思いやり 「埋み火」 奉仕 「最後に見た先生」	福祉体験への不安や意欲を知り合い、気持ちを共有する。 施設の充実さに気付く。 高齢社会について関心をもつ。 なぜ充実した施設があるのか課題をもつ。 老人ホームの意義を確認する。 第2回訪問での行動について考える。 出し物がうまく受け入れられない場合があることに気付く。 相手を中心に考えて行動することの大切さに気付く。 「介護制度」「生きた時代」について知る。 相手の気持ち以外に知っておかないといけないことがあることに気付く。 「老い」について知る。 「奉仕」とは何かを考える。 相手の心、体を知った上で、相手を思いやった行動ができる。 22今までの学習したこと をもとに、老人ホームを自分のこととして考える。 23高齢者が過ごしやすい施設や設備、日課について考える。 24一年間の感謝の気持ちをもって接し、進路への決意をもつ。	適切な挨拶、マナーを守る。 聞き取ったことを整理してまとめる。 課題意識がもてる。 多くの情報から、整理してまとめる。 聞き手に分かりやすいように報告できる。また、聞き手は、疑問点を出せる。 堂々と出し物ができる。 意見を出し合う中で、考えが深くなっていく。 情報を整理して、まとめることができる。 聞き手に分かりやすいように報告する。また、聞き手は、疑問点を出せる。 相手の立場を理解して、それに応じて接することができる。 聞き手に分かりやすいように報告できる。また、聞き手は、自分の考えを出せる。 情報を整理して、まとめる。 聞き手に分かりやすいように報告できる。また、聞き手は、疑問点を出せる。 22体験から学び取った自分の意見を出せる。 23独創的な施設を考え出す。 24温かい気持ちで、接することができる。 25自分の主張を堂々と発表できる。
音楽 リコーダー演奏 美術 絵画 福祉体験スケッチ				
理科 「動物の体のつくりと働き」				
美術 一点透視法 やさしさのデザイン				
技術 製図				
国語 レポートの書き方				

6. 本時のねらい

- ・今までの体験学習をもとに高齢者介護を自分のこととしてとらえ、今後の介護の在り方について考える。
- ・意見を出し合い、周りの人の意見を聞く中で、考えを深めていく討議の力をつける。

【自他の理解と尊重】【コミュニケーション能力】

7. 展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	TTの動き	指導()と評価()
導入	・これまでの活動を生徒自身で振り返る。		T5 司会のそばで援助する。	
展開	・ 高齢者介護の在り方を自分のこととしてとらえる。 事前意識調査から、「自分が介護する立場になったら、介護施設に入所させるかどうか」の意見を各代表者が発表し、同じ意見のグループに分かれ、意見を出し合う。 事前意識調査から、「自分に介護が必要になったとき、介護施設に入所したいかどうか。」の意見を各代表者が発表し、同じ意見のグループに分かれ、意見を出し合う。	介護について、具体的事例で考えよう。 ・仕事があるから無理なようだったら入所させる。 ・介護が充実しているからすぐ入れる。 ・自分を育ててくれた親だから最後までがんばる。 ・家のものに迷惑をかけたくないのだから入る。 ・十分な介護をしてもらえるので入りたい。 ・寂しいから、家の人に看てもらいたい。	T2~5 各グループにつき、観察する。	自分だったらどうするかということに目を向けさせる。 素直に自分の気持ちを出せたら評価する。 素直に自分の気持ちを出せたら評価する。
	・ これからの介護の在り方を考える。	今後の介護の在り方が、どうなればいいですか。 ・老人ホームの施設がより充実すればいい。 ・使いやすい介護保険になればいい。 ・家族が面倒をみられる社会になればいい。	T1 ここまでの生徒の意識をまとめる。 T2~5 各グループにつき、観察する。	周りの人の意見を聞く中で、自分の意見を深められたか。討議に積極的に参加できたか。
まとめ	・ 介護する上で、最も大切なことを見付ける。	介護設備や制度がよくなれば、それでいいのだろうか。 ・安心して暮らせる人とのつながりが必要。 ・困ったことを相談できる人が必要。	T1 生徒に問題提起する。 T2~5 グループ毎に話し合う場合は、グループにつき観察する。	楽しく生きられる環境(特に心の面)をつくることの大切さに気付かせる。 今後の学習(自分の理想の介護施設設計)のきっかけとする。

8. 評価

- ・今までの体験学習をもとに高齢者介護を自分のこととして考える中で、今後の介護の在り方について考えることができたか。
- ・意見を出し合い、周りの人の意見を聞く中で、考えを深めていく討議の力がついたか。

【自他の理解と尊重】【コミュニケーション能力】